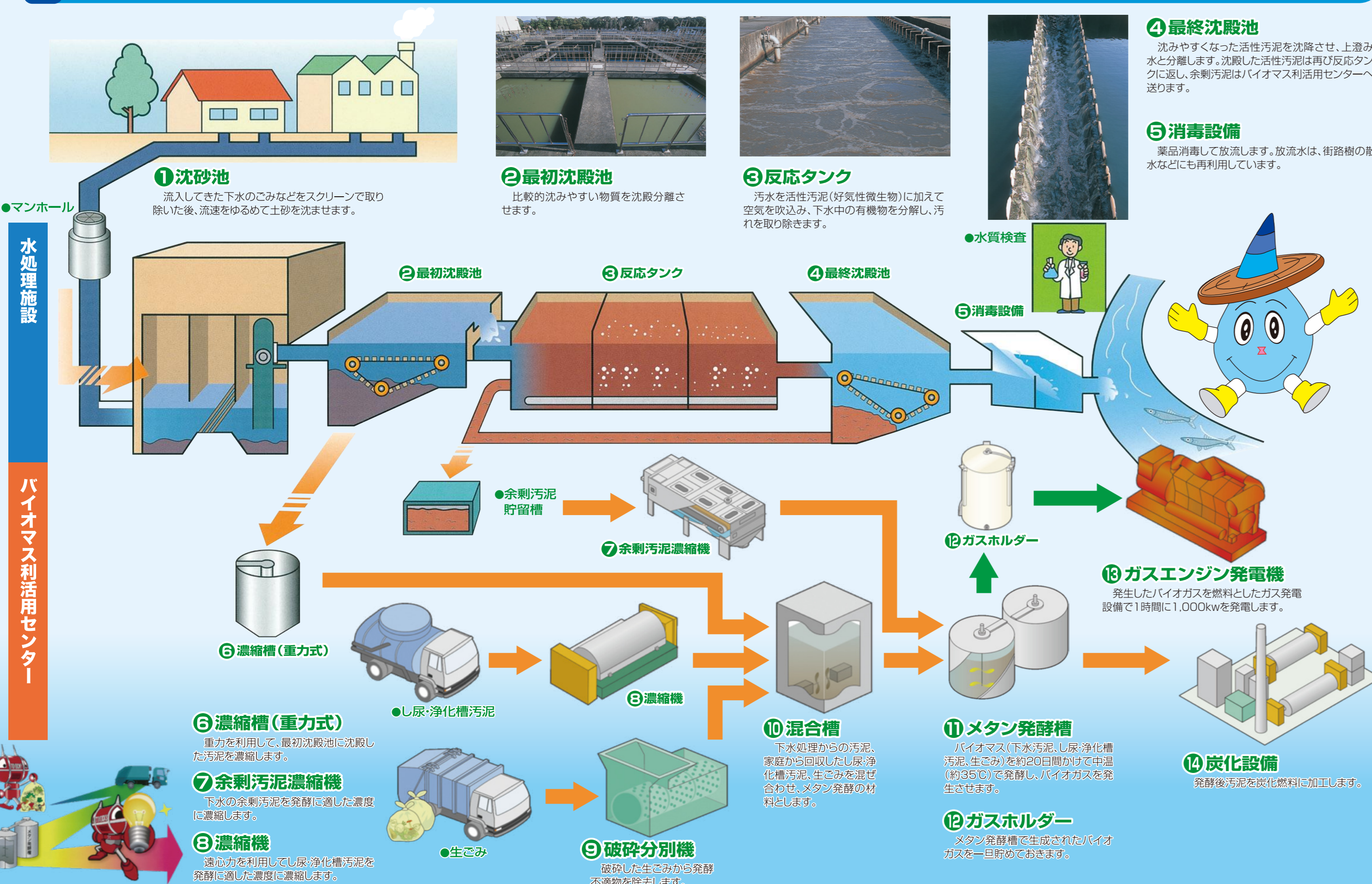
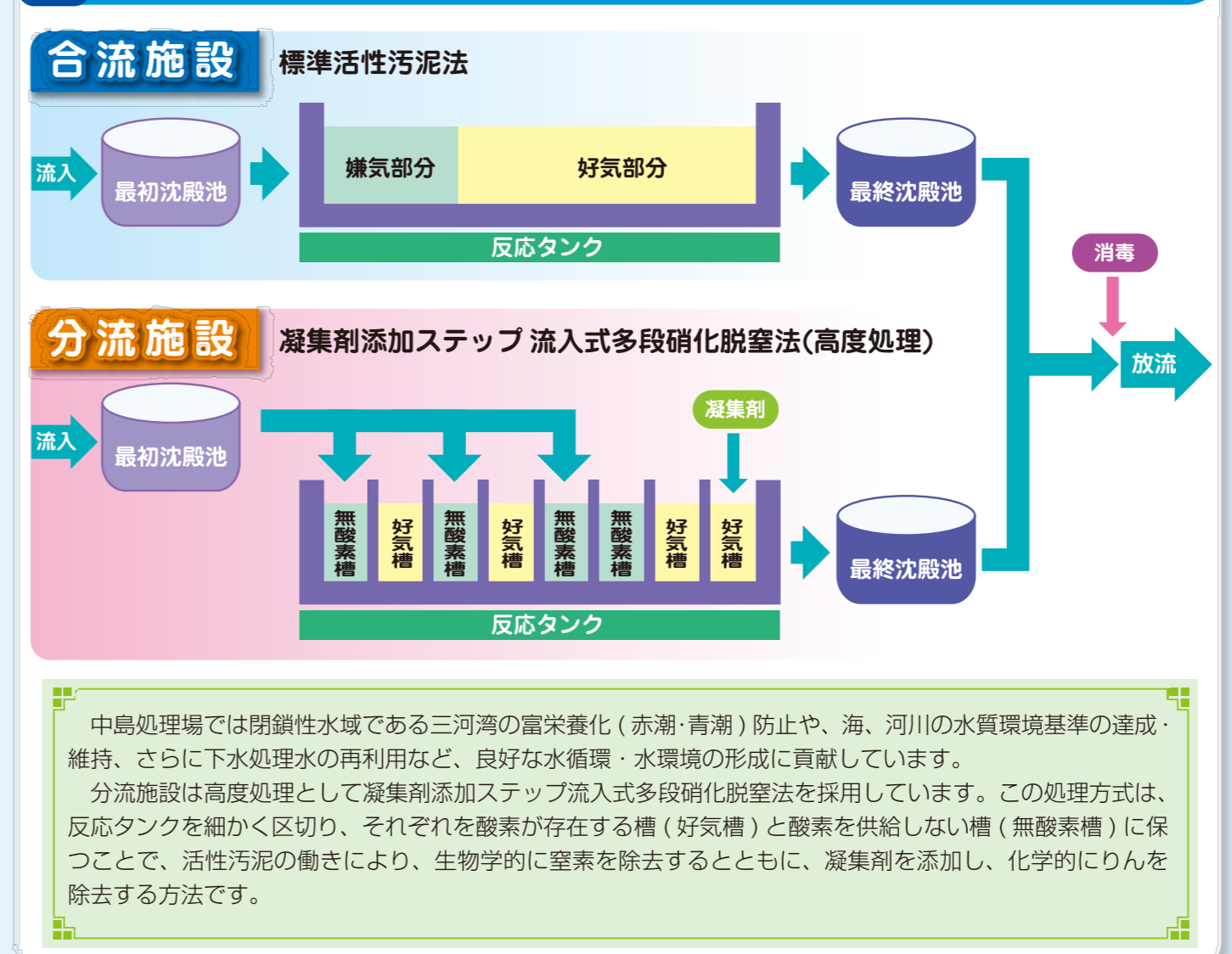


中島処理場のしくみ



処理方式



運転管理



下水はどのようにしてきれいになるの?

Q 下水は、処理場の反応タンクで生きている微生物(小さな生き物)の動きによってきれいになります。

下水がきれいになる様子



活性汚泥

下水中の有機物(汚れなど)を食べて水をきれいにしてくれる微生物(細菌、原生動物等)がたくさん集まってできたフロック(かたまり)のことを活性汚泥と言います。

下水処理場に送られてきた下水は、微生物の動きを利用した生物処理によってきれいになり、最後に消毒してから川へ放流されます。通常、BOD濃度140mg/l程度をBOD濃度3.8mg/lまで浄化し、魚が住めるほどきれいな水にしています。

活性汚泥(0.2~1mm) 主として微生物がたくさん集まってかたまりになったもの。

こんな小さな微生物が下水をきれいにしてるんだよ。

ぼくたち微生物は、下水処理のヒーローです。

ぼく、ペレノマ。

活性汚泥を顕微鏡でのぞいて見ると、こんな生物がいます。

